

第 528 回 統計審議会議事録

- 1 日 時 平成 8 年 9 月 2 0 日 (金) 14:00~15:10
2 場 所 共用第 3 特別会議室 (中央合同庁舎第 4 号館 1 2 階)
3 出席者 計 2 1 名

(委 員)

溝口会長、吉澤委員、腰原委員、松田委員、井原委員、美添委員、廣松委員、
昆委員、酒井委員、福島委員、丸山委員、澤田委員、江川委員、中名生委員
(委員代理)

関根 (友兼委員代理)、菅野 (松島委員代理)

(総務庁)

山岸統計基準部長、木内統計企画課長、渡辺国際統計課長、新井統計審査官、
淵上統計審査官

4 配布資料

① 庶務事項

- 第 5 2 6 回統計審議会議事録
- 第 5 2 7 回統計審議会議事録 (案)
- 統計審議会委員及び専門委員の発令について
- 部会に属すべき委員及び専門委員の指名について

② 報告事項

- 公共工事着工統計調査 (平成 8 年 7 月分)
- 統計情報提供の改善に関する日本銀行の最近の取組について
- 平成 8 年 7 月指定統計・承認統計・届出統計月報 (第 4 4 巻・第 7 号)
- 指定統計の公表実績及び予定

5 議題及び議事

① 庶務事項

ア 統計審議会委員及び専門委員の発令について

溝口会長から、統計審議会委員及び専門委員の発令について、別紙 1 のとおり発令がなされた旨報告があった。

イ 部会に属すべき委員及び専門委員の指名について

溝口会長が、別紙 2 のとおり部会に属すべき委員及び専門委員の指名を行った。

② 報告事項

ア 公共工事着工統計調査 (平成 8 年 7 月分) について

建設省建設経済局調査情報課西澤統計企画官が、資料「公共工事着工統計調査 (平成 8 年 7 月分)」に基づき、概略を報告 (20 分程度)

[質 疑]

中名生委員) 経済企画庁では、本調査結果について、月々の景気を判断する際に公共投資の動向を把握する上で大変参考にしているが、これに関し二つ質問させていただきたい。一つは、先程の説明によると本調査の調査客体として 55 万建設事業所の中から約 1 万 2,000 建設事業所を選定してい

るとのことだが、カバレッジは建設投資額でみるとどれ程の割合になるのか。それから二点目は、本調査とは別に建設工事の出来高ベースの実績を集計・公表しているが、これはどのような方法で算出しているのか。西澤統計企画官) 一つ目の建設投資額でみたカバレッジは、全体の約6割となっている。二つ目の建設工事の出来高ベースの実績の算出方法については、3ヶ月ごとに各月の公共工事及び民間工事の着工ベースの実績を出来高ベースに換算することにより算出している。

中名生委員) 建設工事の工事期間は工事内容により長短様々かと思うが、着工から完成までの期間はおおむね3ヶ月程度と考えてよいのか。

西澤統計企画官) そのとおりである。建設工事の出来高ベースの実績については、委員の方々の目に触れることが少ないのかも知れないが、いま建設総合統計の一つとして集計・公表を行っている。

松田委員) 本調査について三点質問させていただきたい。一つは公共工事のうち「農林水産」分野のものとはどのような内容の工事か。二点目は最近、地方公共団体において数多く行われているホール等の建設工事は「教育・病院」分野に入るのか、「庁舎」分野に入るのか、それとも「その他」分野に入るのか。それから三番目は地方公営企業が発注した「鉄道軌道」分野の公共工事が比較的高いものとなっているが、これは新規に線路を敷設する工事が増えているのか、それともメンテナンス関係の工事なのか、以上三点について教えていただきたい。

西澤統計企画官) 一つ目の「農林水産」分野の公共工事の工事内容についてであるが、これは干拓工事や干拓関係の堤防建設工事である。二つ目の地方公共団体によるホール等の建設工事の分野についてであるが、これは「教育・病院」分野のものに分類している。三つ目の地方公営企業による「鉄道軌道」分野の公共工事の工事内容についてであるが、これは地方高速鉄道の新設工事等が多いものとなっている。

松田委員) 「教育・病院」分野の公共工事の実績のうちホール等の建設工事に係る部分を抽出することはできないか。

西澤統計企画官) ホール等の建設工事は「教育・病院」分野の公共工事としてまとめているので困難である。

松田委員) 近年、建設業者が建設工事を実施するに当たっては、複数の業者が共同企業体を組織して行うケースが多いが、調査対象建設事業所を含む共同企業体が公共工事を実施した場合、本調査においてどのような取扱いとなるのか。すなわち共同企業体を実施した公共工事の総工事費評価額全額が調査対象建設事業所の実績とされるのか。それとも、調査対象建設事業所が共同企業体に出資した比率に応じ、総工事費評価額が按分されるのか。

西澤統計企画官) 後者である。

溝口会長) 本調査の実施方法はメール調査とのことだが、回収率はほぼ安定しているのか。

西澤統計企画官) 回収率は、都道府県の協力もあって、毎回 80%以上と高い水準で安定している。

溝口会長) 調査客体である建設事業所は、毎年変えているのか。

西澤統計企画官) 毎年、各建設事業所の実績に基づき名簿を作成し、これにより調査対象建設事業所を変えている。

溝口会長) 毎月実施する統計調査の場合、調査客体は調査の初回月から最終月までの間に様々な事情で減っていくのが一般的であるが、本調査では、調査対象建設事業所が減っていくことがあるのか。また、減った際にはその分の調査対象建設事業所の補充を行うのか。

西澤統計企画官) 本調査においても、調査対象建設事業所が調査期間中に減っていくことがあるが、特に補充等の措置は講じていない。

イ 統計情報提供の改善に関する日本銀行の最近の取組について

日本銀行調査統計局菅野経済統計課長が、資料「統計情報の改善に関する日本銀行の最近の取組について」に基づき、概略を報告(20分程度)

[質 疑]

美添委員) 本報告とは直接関係がないのだが、本年3月、日本銀行に対し、企業短期経済観測調査(以下「短観」という。)の公表時に当該調査に使用した調査表も併せて開示してほしい旨要望したところ、本年5月の公表時から調査表も開示されるようになり大変助かっている。調査表の開示を決断されたことについて感謝したい。

松田委員) 統計情報の提供に当たりファックス等を活用し速報性の向上を図ることについては、民間企業体からの強い要求もあり実施されているものと思うが、これと同時に提供する統計情報の内容についても更に工夫することができないか。例えば、調査客体の分類方法の変更等により新たな視点で分析した調査結果を公表する等のことを実施してもらおうと非常に参考になると思うので、少し検討していただければありがたい。

菅野経済統計課長) 本件については問題が二つあるかと思う。まず一つは、松田委員が言われるような研究的な分析手法についてである。二点目は当該手法による調査結果の公表方法、すなわちそれを統計として公表するか、論文形式で公表するかということである。

まず、一つ目の分析手法についてであるが、これに関しては行内の分析チームと力を合わせ様々な手法を開発していきたいと考えており、委員の方々からも、むしろこうした分析手法の方がより統計利用者の要求にこたえられるのではないかというものがあれば是非教示していただきたい。

二つ目の公表方法についてであるが、日本銀行においても、統計調査の結果を公表する都度、はたして今の公表形式がベストなのかどうかということを常に自問し、また、日本銀行内外の多くの統計利用者から意見聴取を行っているところであり、今後とも適切な公表方法により報告

を行っていきたいと思っている。

廣松委員) 二つ質問させていただきたい。一つ目はパソコン通信を使った情報提供についてだが、現時点ではニフティサーブ経由のものだけなのか。それから二つ目は、今日、報告があったのは情報提供についてだが、情報収集の方において、現時点で日本銀行は電子メディアをどの程度使っているのか。以上の二点について情報を持っていれば教えていただきたい。

菅野経済統計課長) 一つ目のパソコン通信を使った情報提供についてだが、確かに現時点ではニフティサーブ経由のものだけであるが、今年度末からはこれに加えてインターネットを利用した情報提供も開始する予定にしている。二つ目の情報収集における電子メディアの利用状況についてだが、これは統計行政の新中・長期構想の中でも、その推進が提言されていることもあり、行内で検討を進めているものの、まだ実施に至っていない。これは、情報提供分野における電子メディアの利用については、当行の決断によりすぐ実施が可能であり、実施すれば利用者にも喜ばれるが、情報収集分野における電子メディアの利用については、実施に伴い調査客体に対し電子媒体に係るコスト負担をかけることになる等の問題が生じるためである。確かに電子媒体の中で統計データの収集・集計・加工を行い、そのまま公表できる形が望ましいと思うが、どのような方法でこれを実現するか、現在、模索している状況である。

井原委員) 本年8月から日本銀行の統計の公表時間を原則11時にしたとのことだが、情報提供に使用しているファックスに対する利用者のアクセスが公表時間に集中し電話回線がパンクしてしまうことはないのか。また、アクセスの時間的な分布が分かれば教えていただきたい。

菅野経済統計課長) 直近の短観の公表時の例でみると、時間的な分布までは分からないが、公表時間直後に情報提供ファックスへの利用者のアクセスが集中し、電話回線が一時的に一杯になって5分間程度アクセスができなかったとの声は聞いているので、やはり公表時間にアクセスが集中しているものと思う。一方、情報提供に使用しているパソコン通信の方については、ニフティサーブの運営会社の説明によると、相当数のアクセスがあっても利用可能とのことなので、パソコン通信利用者は公表時間直後に情報を入手しているものとみている。

溝口会長) 配付資料3ページの表「外部から日本銀行へのアクセス件数の推移」は非常に興味深いもので、統計情報の提供方法が変わるとどれだけ需要が増えるかという意味で他省庁にとっても大変参考になるものと思うので、今後、インターネットによる統計情報の提供が開始された際にも、これによるアクセス件数の変化について何らかの形で結果を教えてもらいたい。

別紙1

統計審議会委員及び専門委員の発令について

(任 命)

平成8年 9月20日付

委 員	酒 井 英 幸	(厚生省大臣官房統計情報部長) =小野昭雄前委員の後任
委 員	丸 山 元 喜	(通商産業大臣官房調査統計部長) =坂井宏前委員の後任
委 員	澤 田 陽太郎	(労働大臣官房政策調査部長) =山中秀樹前委員の後任
委 員	江 川 富士男	(東京都総務局統計部長) =鈴木勝男前委員の後任
専 門 委 員	菅 宜 紀	(総務庁統計局統計調査部経済統計課長) =小高章前専門委員の後任
専 門 委 員	伊 藤 賢 逸	(総務庁統計センター管理部長) =湯田一正前専門委員の後任
専 門 委 員	安 原 宣 和	(経済企画庁調査局景気統計調査課長) =近藤誠前専門委員の後任
専 門 委 員	宮 内 敏 幸	(大蔵省財政金融研究所調査統計部長) =小林徹前専門委員の後任
専 門 委 員	富 澤 正 夫	(厚生省大臣官房統計情報部管理企画課長) =廣瀬友久前専門委員の後任
専 門 委 員	佐々木 修	(厚生省大臣官房統計情報部 管理企画課情報企画室長) =漆原克文前専門委員の後任
専 門 委 員	長 井 宏	(厚生省大臣官房統計情報部 保健社会統計課長) =植村尚史前専門委員の後任

- 専門委員 小田清一 (厚生省大臣官房統計情報部
保健社会統計課保健統計室長)
=北井暁子前専門委員の後任
- 専門委員 八幡和郎 (通商産業大臣官房情報管理課長)
=成宮治前専門委員の後任
- 専門委員 余田幸雄 (通商産業大臣官房調査統計部管理課長)
=藤岡誠前専門委員の後任
- 専門委員 田辺孝二 (通商産業大臣官房調査統計部
商業統計課長)
=丸川章前専門委員の後任
- 専門委員 犬飼直樹 (労働大臣官房政策調査部
産業労働調査課主任統計専門官)
=磯野芳光前専門委員の後任
- 専門委員 藤嶋建志 (労働大臣官房政策調査部
産業労働調査課統計企画官)
=野中賢一前専門委員の後任
- 専門委員 下矢雅美 (労働大臣官房政策調査部
統計調査第二課長)
=小泉万里子前専門委員の後任
- 専門委員 土屋彰男 (建設省建設経済局調査情報課長)
=松浦隆康前専門委員の後任
- 専門委員 須貝俊司 (自治大臣官房情報管理室長)
=吉田哲前専門委員の後任
- 専門委員 関根 淳 (日本銀行調査統計局物価統計課長)
=早川英男前専門委員の後任

別紙 2

部会に属すべき委員及び専門委員の指名について

(指 名)

統計制度部会

鉱工業・建設統計部会

運輸・流通統計部会

企業統計部会

国民生活・社会統計部会

調査技術開発部会

委 員 江川 富士男 (東京都総務局統計部長)

鉱工業・建設統計部会

運輸・流通統計部会

企業統計部会

専 門 委 員 菅 宜 紀 (総務庁統計局統計調査部経済統計課長)

分類部会

情報処理部会

専 門 委 員 伊 藤 賢 逸 (総務庁統計センター管理部長)

統計制度部会

鉱工業・建設統計部会

運輸・流通統計部会

企業統計部会

国民生活・社会統計部会

調査技術開発部会

分類部会

経済指標部会

情報処理部会

専 門 委 員 安 原 宣 和 (経済企画庁調査局景気統計調査課長)

企業統計部会

専 門 委 員 宮 内 敏 幸 (大蔵省財政金融研究所調査統計部長)

統計制度部会

分類部会

国民経済計算部会

専 門 委 員 富 澤 正 夫 (厚生省大臣官房統計情報部
管理企画課長)

情報処理部会

専門委員 佐々木 修 (厚生省大臣官房統計情報部
管理企画課情報企画室長)

運輸・流通統計部会

国民生活・社会統計部会

専門委員 長井 宏 (厚生省大臣官房統計情報部
保健社会統計課長)

企業統計部会

専門委員 小田 清一 (厚生省大臣官房統計情報部
保健社会統計課保健統計室長)

情報処理部会

専門委員 八幡 和郎 (通商産業大臣官房情報管理課長)

統計制度部会

農林水産統計部会

鉱工業・建設統計部会

企業統計部会

情報処理部会

専門委員 余田 幸雄 (通商産業大臣官房調査統計部管理課長)

運輸・流通統計部会

専門委員 田辺 孝二 (通商産業大臣官房調査統計部
商業統計課長)

調査技術開発部会

分類部会

専門委員 犬飼 直樹 (労働大臣官房政策調査部
産業労働調査課主任統計専門官)

情報処理部会

専門委員 藤嶋 建志 (労働大臣官房政策調査部
産業労働調査課統計企画官)

鉱工業・建設統計部会

国民生活・社会統計部会

専門委員 下矢 雅美 (労働大臣官房政策調査部
統計調査第二課長)

統計制度部会

農林水産統計部会

鉱工業・建設統計部会

運輸・流通統計部会

国民生活・社会統計部会

分類部会

経済指標部会

国民経済計算部会

専門委員 土屋彰男 (建設省建設経済局調査情報課長)

情報処理部会

専門委員 須貝俊司 (自治大臣官房情報管理室長)

経済指標部会

専門委員 関根 淳 (日本銀行調査統計局物価統計課長)